

取組事例 新たな暮らし体験「保育園留学」で新しい人の流れをつくる (厚沢部町)

厚沢部町では、1～3週間こどもが保育園に通いながら家族で地域に滞在して農作物の収穫体験などができる新たな暮らし体験「保育園留学」を実施し、家族ぐるみの超長期的な関係人口を創出することで、「子ども」「子育て家族」「過疎地域」にとって、よりよい未来を目指している。

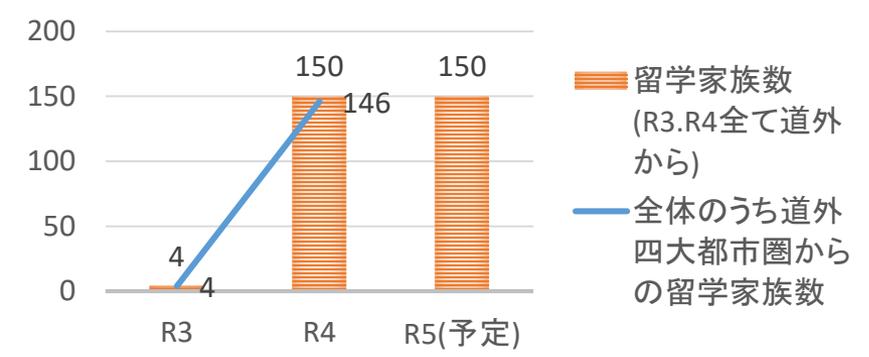
関連数値目標・KPI

	基準値 (R2)	実績 (R4)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
移住促進相談件数	69	147	20	735.0

取組の推進体制

令和3年度から実施している「保育園留学」について、厚沢部町は、町の豊かな大自然を通じて地域とのつながりを感じられる食育・暮らし体験にするため、こども園や地元農家、事業者と協力し合い、域外に開けた関わり方で長期的な関係人口の創出に向けた取組を推進している。

保育園留学者の状況



留学家族数が大幅な増加傾向で、その全家族が道外からの体験者となっている。令和5年度も前年度と同数程度を予定。

取組事例 保育園留学を軸に、地域の100年を創造する取組へ

- 保育園留学の仕組み
 - ・保育園の一時預かり事業
 - ・お試し移住施設や空き家などの遊休物件
 - ・まちの暮らし体験を組み合わせたパッケージ体験で地域資産を新たな価値とする。
- 内閣府優良事例に選出
 - ・内閣府運営の地方創生SDGs官民連携プラットフォーム2021年の優良3事例に選定されたほか、テレビや雑誌などで多数特集され、令和4年度の間合せ件数は1,450件、キャンセル待ちが続出している。



「保育園留学」クオリティの向上

- 主な取組
 - ・全国4自治体とその地域の事業に関わる保育施設、園児向けのオンライン診療を担う企業などで構成される保育園留学コンソーシアムを設立。
 - ・令和5年2月 第1回保育園留学コンソーシアム総会をオンラインで開催。
- 期待される主な効果
 - ・今後、各地域における保育園留学の成功事例・課題の共有を図り、より魅力ある保育園留学の創造を目指す。

